

市道のマンホール蓋の断熱化推進を求める請願

令和7年2月20日

青森市議会議長 奈良岡 隆 様

青森市勝田一丁目12番14号
藤田 繁行

紹介議員 蛭名 和子
藤田 誠
小熊 ひと美

(請願の趣旨)

世界一の豪雪都市とも称される青森市では、豪雪を克服するために、これまでも適切な除排雪の実施や流雪溝の整備など様々な施策が実施されてきたところだが、それでも集中降雪時等には除排雪等が追いつかず、道路状況が著しく悪化する状況も珍しいことではない。

こうした豪雪期の道路状況の悪化は、日常の車両や歩行者の通行に支障が出るだけでなく、災害発生時等、例えば地震を原因とする建造物の倒壊、火災発生、津波の襲来時等には、住民の避難行動を妨げるほか、緊急車両等による消火・救護・救出活動や復旧作業等の支障になることが懸念されることから、危機管理上の課題とも考えられる。

大量の降雪に伴う道路状況の悪化の内容は様々であるが、積雪そのものに加えて、道路幅の減少、路面の不規則な荒れやうねり、凹凸の発生といった状況も多く見られるところである。それらの要因の一つとして、マンホール蓋の熱を原因とする穴状の段差も挙げられ、これによる車両のスタック、バンパーなどの破損、安全確保のための速度低下、通過時の騒音発生等、住民のQOLを著しく低下させていると言わざるを得ない。

このような段差を発生させないため、札幌市や北広島市、恵庭市、山形市など多くの雪が降る自治体において施策として採用・整備され、大きな成果を上げているのがマンホール蓋の断熱化である。

この整備には、費用も期間も相応にかかると考えられるが、確実な効果が期待できる上、豪雪期の災害発生時を含めた住民のQOL向上にも資すると思われ、何より子々孫々へ受け継がれていく有用で貴重な社会資本として大切な財産になると考えるものである。

(請願事項)

市道のマンホール蓋の断熱化を推進すること。